

すこやか
インタビュー

野辺地町

**妊娠から子育てまで
切れ目ない支援を
目指すまちづくり**



野辺地町はどんなところ

野辺地町は陸奥湾の最奥部、下北半島の付け根に位置しています。北西部には陸奥湾を抱き、南には烏帽子岳を背負い、八甲田の山々ものぞくことができます。かつては北前船の寄港地として栄えた湊町としての歴史があり、文化が伝えられています。豊かな風土に恵まれていて、味わい深い特産物も数々あります。ホタテやこかぶ、長芋など農産物、カレイやマダイなどの魚介類が季節により旬の味を楽しむことができます。

野辺地町の健康状況について
野辺地町の人口は、平成31年3月末時点で13,207人であり、自然減と社会減の両面から急激な人口減少と少子高齢化が進んでいます。そのため、令和2年3月に「野辺地町まち・ひと・しごと創

生人口ビジョン」の改訂及び「第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少問題の対策に取り組んでいます。出生数は平成24年から減少傾向で、平成31年度は59件となっています。また平成28年度に児童福祉法、母子保健法が改正され、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設置が努力義務となりました。サービスの受け手である子育て中の世代のニーズを把握するためにアンケート調査を平成30年度に実施しました。その結果から情報提供の充実（周辺産科や小児科など）、お子さんのお父さんやご家族を巻き込んだ保健指導、親子の居場所、遊び場づくりなどの要望をもとに、子育て世代を支援する新事業を立ち上げました。

子育て世代への支援とは

令和2年4月からお子さん

負担を軽減します。

5つ目は、「こそだて応援コンシェルジュ」です。

子育てに必要な情報（周辺産科、小児科、保育園・幼稚園など）や育児相談について、助産師や保健師などの専門職が窓口や電話相談、訪問などで妊産婦さんやご家族一人ひとりに寄り添い対応し、支援しています。

町長が目指すまちづくり

当町では次代を担う子ども

たちの成長を支える取組が重要な課題と捉え、保健、医療、福祉、教育を始めとする幅広い分野で、総合的な支援に取り組んできました。子どもの健やかな成長は子育て家庭の幸せいつながることはもとより、町に元気と活力をもたらします。町全体で子育て世代の家庭に寄り添い、支援するとともに「あなたの子どもは私たちの子ども」「こそだてをみんなで応援する住み心地がよい町」を目指しています。

1つ目はすぐすぐサロン

妊娠婦さんはご家族がお茶

や子育て世代への一體的な支援をおこなうため、『こそだて応援ステーションふわふわ』を新設しました。機能としては、子育て世代包括支援拠点と子ども家庭総合支援拠点の機能を有し、妊娠婦さん、赤ちゃんから18歳までのお子さんと子育て世代の保健や福祉全般を含めます。同時に、子育て世代支援の新規事業を5つスタートしました。

2つ目は妊娠さん・ご家族への訪問などの支援です。

希望される妊娠さんやご家庭を実施しています。

4つ目は新生児聴覚検査費用の助成です。

お子さんが生まれてすぐに行う聴覚検査の費用を助成することによって、聴覚障害の早期発見及び早期療育をは

